

やさいレポート (令和8年6月号)



にんじん



発行日：令和8年6月5日

1. 卸売価格の動向

○165 円/kg (6月2日)

➢ 平年比：102%

○6月の価格見通し

平年を下回って推移

(農林水産省、東京都中央卸売市場)

2. 小売価格の動向

○455 円/kg

(5月8日全国平均)

➢ 前月比：88%、平年比：99%

➢ 東京：209 円 (3本)

➢ 大阪：185 円 (3本)

○特売店舗数/調査店舗数

➢ 東京：5/20 (前月 6/20)

➢ 大阪：4/10 (前月 3/10)
(機構調べ)

3. 家計消費動向

○212g/人 (4月全国平均)

➢ 前月比：96%

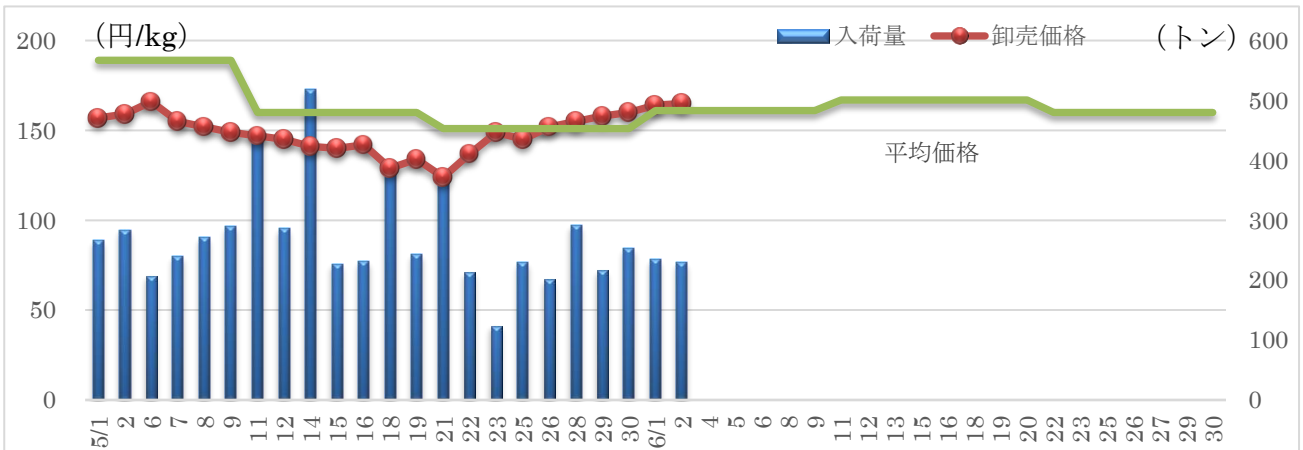
➢ 前年同月比：106%

○2,497g/人 (2025 年年間)

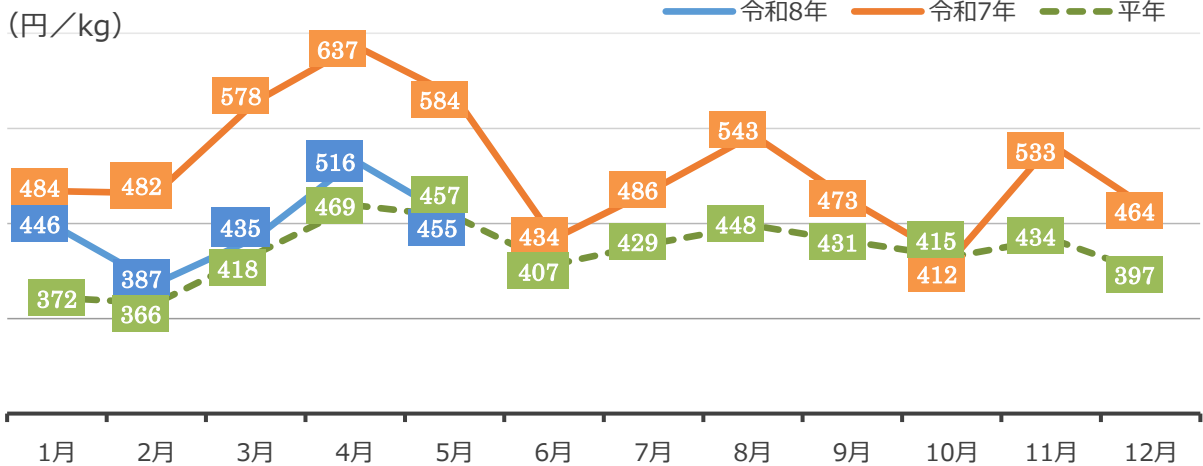
➢ 前年比：98%

(総務省統計局家計調査)

4. にんじんの入荷量と価格の推移 (東京都中央卸売市場)



5. にんじんの小売価格の推移



6. 主産地の生育・出荷動向

産地名	作付面積	作況	生育進度	出荷進度
青森県三沢 (4/23)	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み
静岡県大城 (2/9)	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み
徳島県吉野川流域 (4/21)	前年並み	平年並み	平年並み	早い
沖縄県糸満 (2/24)	前年並み	やや不良	遅い	遅い

※特記ない場合は平年比。()内は調査日。

(機構調べ)



徳島県吉野川流域圃場の様子

7. 向こう1ヶ月の気象情報 (6/6~7/3)

週別の天候				
6/6~6/12		北日本では、天気は数日の周期で変わりますが、低気圧や前線の影響を受けやすいため、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。 東・西日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。 東・西日本太平洋側と沖縄・奄美では、前線や湿った空気の影響を受けやすいため、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。		
6/13~6/19		北日本では、天気は数日の周期で変わります。 東・西日本と沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。		
6/20~7/3		北・東・西日本では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。		
		平均気温 (1か月)	降水量 (1か月)	日照時間 (1か月)
北日本	日本海側	低30 並50 高20% 平年並の見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側	少20 並40 多40% 平年並が多い見込み	少20 並40 多40% 平年並が多い見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み
東日本	日本海側	低20 並30 高50% 高い見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側	少20 並40 多40% 平年並が多い見込み	少20 並40 多40% 平年並が多い見込み	少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み
西日本	日本海側	低10 並40 高50% 高い見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側	少20 並40 多40% 平年並が多い見込み	少20 並40 多40% 平年並が多い見込み	少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み

(気象庁1カ月予報)

8. 輸入動向 (生鮮にんじん)

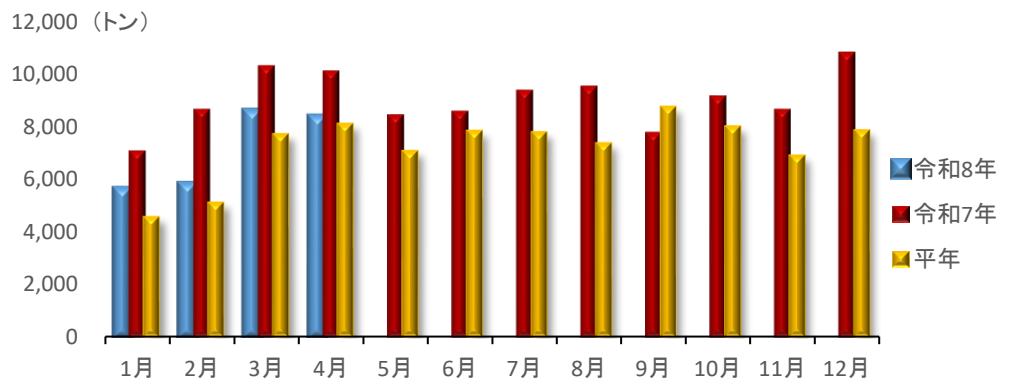
○8,328 トン (4月輸入量)

➤ 前年同月比: 83%

○輸入先国ベスト3

- 1位 中国 7,693 トン
- 2位 台湾 345 トン
- 3位 豪州 278 トン

(財務省貿易統計)



9. 一口メモ

5月は、徳島産主体の入荷で、上旬は連休で収穫を休む産地もあり少なくなったが、中旬以降は千葉産の増量もあり、価格は月をとおして平年を下回った。

6月は、関東の産地が主体の出荷となる。千葉・茨城産ともに生育は順調で、数量は平年並み、価格は平年を下回って推移する見込み。

本データは全てベジ探から入手できます。

詳細はベジ探をご覧ください。

ベジ探: <https://vegetan.alic.go.jp/>

農畜産業振興機構

野菜業務部 管理業務課